



SUPERBIKE EXPRESS--



QUALIFYING PRACTICE & Race 1 REPORT & INTERVIEW



最終ラップ最終コーナーで明暗を分けたJ-GP2クラスレース1 水野涼がクラス初優勝を達成! 関口太郎は無念のクラッシュ レース2は、どんなレース展開が待っているのか!?

新しいシーズンがついに始まった。全日本ロードレース選手権は、今年もJ-GP2クラス、J-GP3クラス、ST600クラス、2年目を迎えるMFJ CUP JP250が、ここ茨城県・筑波サーキットで開幕した。

J-GP2クラスは、昨年のチャンピオン浦本修充が再びJSB1000クラスにスイッチしたため、今シーズンもチャンピオン不在となる。昨年のST600クラスチャンピオンの榎戸育寛がKALEXで、J-GP3チャンピオンの徳留真紀がSPEED UPというMoto2™マシンでエントリー。Thailandヤマハチームノリックから全日本デビューするケミン・クボ。Team KAGAYAMAに移籍した三原壮紫。Team高武RSCは、作本輝介に加え、岩戸亮介もJ-GP2クラスにスイッチするなどライダーの動きやマシン面での変化が見られた新シーズンだが、作本は、先週行われた事前テストで転倒し負傷。残念ながら欠場を余儀なくされている。

事前テスト、そして木曜日から始まったレースウィークの流れを見ると2台の仕上がりが群を抜いていた。その一台が、木曜日にJ-GP2クラスでは前人未踏の56秒台に入れた水野涼だった。昨年は、ランキング3位となったが、優勝はなかっただけに、まずは1勝、そしてシリーズチャンピオンを視野に入れている。今年は、サスペンションをオーリンズに変更。一からのスタートとなっていたが、テストからいい仕上がりを見せ、アバレッジもよくなって来ている。そしてもう一台が関口太郎だった。昨年、ランキング

2位となった関口は、再び自らのチームでスタート。マシンは同じHP6だが、昨年使っていたものとは違ったため個体差をライダーもメカニックも感じながら徐々にペースを上げてきていた。決勝は、この2台の戦いに、他のライダーが、どこまでついて来られるかがレース展開を左右するポイントだった。

公式予選、そしてレース1が行われた土曜日は、朝から弱い雨が降り、路面はウエット。一時は、止むかと思われた雨だったが、霧雨が強くなったり、弱くなったりする不安定な天候となっていた。

ウエットコンディションで行われた公式予選は、セッション終盤に各ライダーはベストタイムを記録。榎戸、生形、水野とリーダーボードのトップは入れかわっていき、最終的に水野が1分01秒631でレース2のポールポジションを獲得。榎戸、関口、生形と続くが、生形は、最後に最終コーナーで転倒。「すべて行くときに“昨年と同じか!”と思わず自分に突っ込みを入れた」と言うほど昨年のデジャヴかと思われる転倒だった。その直後に行われたスーパーポールは、雨のため15分の計時で争われることになったが、生形は、昨年と同様にマシンの修復に追われることになっていた。公式予選の上位10台によって争われたスーパーポールは、開始5分というところでケミンがS字コーナーで転倒し、赤旗が提示される。セッションが再開されると生形もコースイン。セッション終盤に1分01秒504をマークした榎戸がレース1のポールポジションを獲得する結果となった。

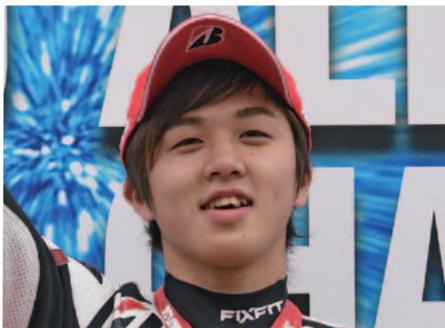
以下、関口、水野、石塚健、生形、岩戸と続いた。

20周で争われたレース1。関口がホールショットを奪うが、最終コーナーの進入で榎戸がトップに浮上し、オープニングラップを制する。関口、石塚、水野と続き、早くもこの4台がトップグループを形成、5番手以下は生形、岩崎、ケミン、大木崇行、柴田陸樹、三原壮紫、岩戸と続いていた。

スタートで出遅れた水野だったが、2周目に石塚を、3周目に関口をかわすと4周目には榎戸をかわしてトップに浮上すると、そのままレースをリードする。トップグループにつけていた石塚は、マシントラブルが発生し遅れ、榎戸も関口にかわされると徐々に単独走行となって行く。トップ争いは、水野と関口の一騎打ちとなり、1コーナーで何度もポジションを入れかえるバトルとなる。そして関口がトップで最終ラップに突入するが、水野は、狙いすましたように1コーナーでインに入りトップに浮上。そのまま最終コーナーに入って行く。最後まであきらめずにアクセルを開けた関口だったが、最終コーナー立ち上がりで痛恨の転倒。水野がトップでチェッカーフラッグを受け、うれしいJ-GP2クラス初優勝を達成。関口は再スタートし、12位でゴール。2位にJ-GP2初レースの榎戸、3位に石塚が入り、3人の18歳ライダーが表彰台に上がる結果となった。

レース2も20周で争われるJ-GP2クラス。水野がダブルウインを飾るか!? 関口の巻き返しはあるのか!? どんなレース展開となるのか、ぜひ注目して欲しい!!

J-GP2 QUALIFYING PRACTICE & RACE 1
REPORT & INTERVIEW



決勝レース2:ポールポジション
1分01秒631
決勝レース1:優勝
#634 水野 涼
MuSASHi RT HARC-PRO.

『第1レースの予選では、自分の走りをすればもっというと思っていましたが、少し自分の予進め方にミスもあって、アタックできずに終わってしまった感じです。それについては素直に悔しいですけど、決勝第1レースに向けては、もっとペースは上げられると思っていました。レースはスタートでミスって順位を落としてしまったのですが、終盤は焦らずにポジションをよく見て(関口さんの)ペースも上がっていきなかつたので、最終ラップに照準を合わせていました。今季は全戦ポールtoウインを狙っていたのですが、それは出来なくなりましたので、第2レースでは、しっかりそれを実現したいですね』



決勝レース1:ポールポジション
1分01秒504
決勝レース2:2位
#32 榎戸 育寛
MOTO BUM HONDA

『決勝第1レースのポールポジションについては、自分でも納得はしています。レースではトップの2台とは徐々に離れて行く展開になったんですけど、セッティングをがらっと変えて臨んだらそれがあまり当たらず、という感じでした。ペースはあまり落ちなかったのですが、先行する2台には対応できなかったですね。あと、ウェットパッチの影響が大きくて、セッティングが合わない部分が残って…。悔しいです。とはいえ、第1レースではポールポジションからスタートできて、明日の第2レースも2番手グリッドですから、山ほどある今日の反省点を整理して、日曜日の第2レースに活かしたいですね』

第1レース(Sat.)公式予選結果

●予選:天候:雨 路面/ウェット 出走17台

Pos.	No.	Name	Team	BestTime
1	32	榎戸 育寛	MOTO BUM HONDA	1'01.504
2	44	関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	1'01.655
3	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.	1'01.726
4	5	石塚 健	WILL-RAISEracingRS-ITOH	1'02.421
5	4	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	1'02.465
6	31	岩戸 亮介	Team高武 RSC	1'02.753
7	70	岩崎 哲朗	OGURACLutch with パワービルダー	1'02.846
8	10	大木 崇行	T.Pro HARC	1'03.006
9	33	KUBO KEMINTH	Thailand ヤマハチームノリック	1'03.278
10	39	柴田 陸樹	RS-ITOH&AUTOBOY	1'03.468
***** 以上スーパーポール計時予選にて決定 *****				
11	17	井筒 仁康	WILL-RAISEracingRS-ITOH	1'03.831
12	392	村瀬 健琉	ミクニ テリー&カリー	1'03.866
13	36	徳留 真紀	マルマエPLUSONE	1'04.591
14	90	中村 修一郎	au&テルル・Kohara RT	1'04.973
15	13	三原 社紫	Team KAGAYAMA	1'05.544
16	16	中本 郡	TONE RT SYNCEDGE 4413 BIZEN	1'05.624
17	21	赤間 清	Mistresa RT HARC-PRO.	1'06.508
***** 以上予選通過 *****				
	8	作本 輝介	Team高武 RSC	出走せず
予選通過基準タイム(1'07.794 - 110%)				
Entry :18 Start :17				



榎戸 育寛

J-GP3 QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

長谷川聖が全日本初ポールポジション獲得!
「決勝は自分の走りをしっかり守って逃げ切りたい」



J-GP3クラス年間ライダー

細かい雨が落ち、路面はウェットコンディションの中で最初のJ-GP3の公式予選が始まった。セッションの序盤から1分04秒台でトップにつける長谷川聖(ユースカップ登録)、続いて今季復活した小室旭、全日本ルーキーの中島元気(ユースカップ登録)がつける。セッションが進むに連れて、タイムも少しずつ上がってくる中、長谷川も1分03秒台に入れて、トップをキープ。さらに03秒506まで更新して、ポールポジションを獲得した。2番手には04秒090まで上げた小室、3番手以下はセッションの終盤に激しい順位争いがあり、最終的に伊達悠太(ユースカップ登録)が04秒136で3位、中島は04秒671まで更新するが4番手、5番手には古市右京が05秒108、6番手には白石玲菜が05秒277と続いた。



長谷川聖



ポールポジション:1分03秒506
#13 長谷川聖
CLUB Y's

『今、ここ(ポールポジション記者会見)にいること自体、正直すごく緊張しています。雨は得意ではあるんですが、タイヤも良くグリップしてくれて、タイムをしっかりと出すことができたので、明日もし雨ならばつぎで優勝したいですね。ドライについても金曜日の練習走行でいいセッティングが見つかったので、晴でもイケる手応えはあります。ただ、決勝では小室さんや伊達くんがくると思うので、それに動じずに、自分の走りをしっかり守って逃げ切りたいと思います』



J-GP2クラス年間ライダー



J-GP2クラス決勝第1レース表彰台(榎戸育寛/水野涼/石塚健)

JP 250 Presented by **DUNLOP**

上原大輝がポールポジション獲得!



上原大輝

公式予選正式結果

●4月8日(土) 予選 天候/小雨 路面/セミアウエット 出走30台

Pos No	Cls.	Rider	Team	BestTime
1	73 N 1	上原大輝	CLUB HARC-PRO.	1'06.795
2	77 N 2	豊島怜	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	1'06.824
3	79 N 3	梅田虎太郎	ファイヤーガレージ	1'06.893
4	31 N 4	藤永優	RPM-PRO POWER Asia&DOG FIGHT R	1'06.939
5	40 I 1	南本宗一郎	アケノスピード・YAMAHA	1'07.022
6	62 I 2	濑田辰央	TEAM-i-FACTORY	1'07.171
7	26 N 5	田中敬秀	7Cエムホー-A MissionMovers=NTR	1'07.247
8	61 N 6	折川翔馬	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	1'07.293
9	35 N 7	小椋華恋	キジマKISSレーシングチーム	1'07.304
10	97 I 3	佐野優人	TEAMBATTLE	1'07.381
11	91 N 8	小林誠	ARTWORKS・誠一しんぐ。	1'07.434
12	46 I 4	小谷咲斗	TEAM ALTEC NECTO T-Craft	1'07.437
13	20 I 5	笠井悠太	TEAM TEC.2	1'07.439
14	16 I 6	高谷純平	TEAM TECHNICA	1'07.544
15	14 N 9	横山尚太	ガレージL8RT	1'07.591
16	4 I 7	吉澤隆	CLUB KENJIN&Pentagram&PLUSu	1'07.607
17	90 I 8	藤井謙汰	デルル・MotoUPレーシング	1'07.673
18	11 N 10	豊島智博	ライダーズサロン横浜	1'07.700
19	78 N 11	松元 聖也	TeamHIRO	1'07.704
20	27 N 12	石井 千優	Team千葉北☆N-PLAN	1'07.718
21	22 N 13	橋本 翼	51GARAGE teamIWAKI	1'07.770
22	18 I 9	亀井 駿	T.Pro Innovation	1'07.997
23	13 I 10	藤村 大磯	TRICK STAR club	1'08.051
24	9 I 11	森 俊也	TRICK STAR club	1'08.064
25	19 I 12	久保 直諒	Titanium Power Racing	1'08.181
26	69 I 13	岸田 尊陽	SPEED SHOP FUSE	1'08.481
27	81 N 14	中原 美海	RAPID BIKE Team miu	1'08.819
28	76 I 14	安藤 武	RSカタクラ	1'09.244
29	8 I 15	阿部 徹郎	PJ1・あべスピード&ガレージL8	1'09.646
30	17 I 16	井手 翔太	HITMAN RC甲子園ヤマハ	1'10.274

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW



奥田教介、地元で全日本初ポールポジション!
「目標は優勝、でもバトルしているいろいろと吸収したい」

ST600 Supported by BRIDGESTONE



ST600クラス年間ライダー

ST600クラスは、J-GP2クラスの予選後半から上がり始めた雨がライン上から乾いて行くというコンディションとなった。その中で和田留佳と奥田教介のKAWASAKI勢が序盤から気魄のこもった走りで1-2ポジションを占める。3番手には星野知也、名越哲平、清末尚樹と名を連ねる。國峰琢磨、前田恵助からも中盤にかけて順位を上げてきた。

セッションの後半に向けてさらに路面コンディションが改善してくると、最終盤に向けてドライタイヤに替えてアタックするライダーが増えて来た。奥田もその一人で、前田とともにセッションの最後でタイムを塗り替えて行った。そして奥田は最後にマークした1分00秒542で再びトップに立ち、前田のチェッカー

周の追撃も00秒837で届かず、ホームコースで全日本初ポールポジションを決めた。2番手の前田は00秒685、星野は1秒307で3番手となった。



奥田教介



ポールポジション: 1分00秒542
#57 奥田教介
teamMF& KAWASAKI

『筑波はもう何年も走っている地元のサーキットです。金曜日午前中の練習走行で雨で走ることができていて、今日は(路面の変化が)同じようなコンディションだったので、最初から行かなくてもタイムが出せる自信はありました。序盤に(レインタイヤで)ある程度アタックした後に、早めにドライタイヤに交換して、あとは路面が乾くのを待ってからアタックに入りました。周りもこれ以上レインタイヤではタイムが上げられないな、と冷静に見られたのが良かったです。決勝レースは(全日本)デビューレースなので、目標は優勝にありますが、レベルは高いので、できる限りバトルをして、いろいろと吸収したいと思っています』



●予選:天候:雨 路面/ウェット 出走17台
●決勝第2レース・スタート/14:00(20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.	HP6q	1'01.631
2	32	榎戸 育寛	MOTO BUM HONDA	KALEX	1'01.771
3	44	関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	HP6	1'01.895
4	4	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	GSX-R MFD6	1'01.905
5	33	KUBO KEMINTH	Thailand ヤマハチームノリック	YN6	1'02.483
6	5	石塚 健	WILL-RAISERacingRS-ITOH	ZX-6R	1'03.044
7	31	岩戸 亮介	Team高武 RSC	MD600	1'03.226
8	10	大木 崇行	T.Pro HARC	HP6	1'03.261
9	39	柴田 陸樹	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	1'03.371
10	70	岩崎 哲朗	OGURAClutch with パワービルダー	ZX-6R	1'03.555
11	17	井筒 仁康	WILL-RAISERacingRS-ITOH	ZX-6R	1'03.831
12	392	村瀬 健琉	ミクニ テリー&カリ	GSX-R600	1'03.866
13	36	徳留 真紀	マルマエPLUSONE	SPEED UP	1'04.591
14	090	中村 修一郎	au&テルル・Kohara RT	KALEX	1'04.973
15	13	三原 壮紫	Team KAGAYAMA	GSX-proto71	1'05.544
16	16	中本 郡	TONE RT SYNCEDGE 4413 BIZEN	HP6	1'05.624
17	21	赤間 清	Mistresa RT HARC-PRO.	HP6	1'06.508

***** 以上予選通過 *****
8 作本 輝介 Team高武 RSC MD600 出走せず
予選通過基準タイム(1'07.794 - 110%)
Entry :18 Start :17

★J-GP2決勝第2レースのスターティンググリッドは、計時予選で記録されたタイム順となります。



●予選:天候:曇 路面/セミウェット 出走33台
●決勝レース・スタート/11:30(25周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	57	奥田 教介	teamMF& KAWASAKI	ZX-6R	1'00.542
2	5	前田 恵助	伊藤RACING・GMDスズカ	YZF-R6	1'00.685
3	46	星野 知也	TEAM PLUSONE	CBR600RR	1'01.307
4	84	長尾 健吾	TEAM けんげん with BEE	YZF-R6	1'01.987
5	77	新垣 敏之	PanaHome 大道建設 YSP横浜南	YZF-R6	1'02.178
6	15	和田 留佳	RS-ITOH&サンタバイク	ZX-6R	1'02.369
7	64	矢田 栄一郎	GBSレーシング・YAMAHA	YZF-R6	1'02.459
8	50	國峰 琢磨	T.ProInnovation	CBR600RR	1'03.131
9	70	清水 尚樹	RS-ITOH	ZX-6R	1'03.158
10	3	名越 哲平	Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	1'03.378
11	52	岡本 裕生	51ガレージ チームイワキ	YZF-R6	1'03.430
12	48	行村 和樹	TOHO Racing Club	CBR600RR	1'03.461
13	38	杉山 優輝	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'03.533
14	96	北見 剣	ENDLESS TEAM SHANTI	CBR600RR	1'03.644
15	17	亀井 雄大	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR600RR	1'03.648
16	20	名越 公助	GBS YAMAHA マツエセブン忠男	YZF-R6	1'03.815
17	40	南本 宗一郎	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	1'03.830
18	90	中村 龍之介	au&テルル・Kohara RT	CBR600RR	1'03.882
19	41	仲村 優佑	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	1'03.960
20	31	長嶋 修一	大道建設モトルファ	YZF-R6	1'04.164
21	32	豊田 浩史	D:REX Racing Team	YZF-R6	1'04.287
22	18	田所 隼	TEAM PLUSONE	CBR600RR	1'04.313
23	24	田尻 克行	グリーンクラブ 能塚	ZX-6R	1'04.399
24	51	宗和 孝宏	51ガレージ チームイワキ	YZF-R6	1'04.432
25	45	安福 央樹	Team ALTEC NECTO T-craft	YZF-R6	1'04.432
26	25	松川 泰宏	MOTO BUM + SAI	CBR600RR	1'04.458
27	43	森中 忍	B'dash106+Little Wing	CBR600RR	1'04.668
28	39	古山 颯太	伊藤RACING・GMDスズカ	YZF-R6	1'04.724
29	91	小山 葵	AKENO・SPEED	YZF-R6	1'04.887
30	86	佐藤 道夫	EGUKEN-Garage	YZF-R6	1'04.979

***** 以上予選通過 *****
31 47 宮脇 寿郎 T-PROinc.&ファイヤーワークス北関東 ZX-6R 1'04.983
32 80 福川 貴志 常夏factory&福川塾withGBS YZF-R6 1'06.245
33 26 櫻井 賢一 MOTOBUM CBR600RR タイム無効
11 中山 真太郎 TEAMしんたろうwithKRT CBR600RR 出走せず
予選通過基準タイム(1'06.596 - 110%)
Entry :34 Start :33

4月8日(土)開催/決勝第1レース正式結果



●予選:天候/曇り 路面/セミウェット 出走17台
●決勝周回数/20周

Pos.	No.	Name	Team	Machine	Lap	Total Time
1	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.	HP6q	20	19'31.189
2	32	榎戸 育寛	MOTO BUM HONDA	KALEX	20	19'38.234
3	5	石塚 健	WILL-RAISERacingRS-ITOH	ZX-6R	20	19'44.777
4	4	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	GSX-R MFD6	20	19'50.709
5	33	KUBO KEMINTH	Thailand ヤマハチームノリック	YN6	20	19'53.947
6	39	柴田 陸樹	RS-ITOH&AUTOBOY	ZX-6R	20	20'00.182
7	10	大木 崇行	T.Pro HARC	HP6	20	20'00.376
8	31	岩戸 亮介	Team高武 RSC	MD600	20	20'00.686
9	13	三原 壮紫	Team KAGAYAMA	GSX-proto71	20	20'00.812
10	70	岩崎 哲朗	OGURAClutch with パワービルダー	ZX-6R	20	20'01.345
11	090	中村 修一郎	au&テルル・Kohara RT	KALEX	20	20'01.473
12	44	関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	HP6	20	20'02.187
13	392	村瀬 健琉	ミクニ テリー&カリ	GSX-R600	20	20'03.148
14	16	中本 郡	TONE RT SYNCEDGE 4413 BIZEN	HP6	20	20'09.776
15	36	徳留 真紀	マルマエPLUSONE	SPEED UP	20	20'09.988
16	17	井筒 仁康	WILL-RAISERacingRS-ITOH	ZX-6R	20	20'21.390
17	21	赤間 清	Mistresa RT HARC-PRO.	HP6	18	19'33.708

***** 以上完走 (15Laps) *****
Fastest Lap
57.550 (19 / 20) 129.487 km/h #44 関口 太郎 / SOX Team TARO PLUSONE
57.550 (19 / 20) 129.487 km/h #634 水野 涼 / MuSASHi RT HARC-PRO.
Start Time :14:45'51 Finish Time :15:05'22.189 Entry :18 Start :17 Finish :17



●予選:天候:雨 路面/ウェット 出走19台
●決勝レース・スタート/10:25(25周)

Pos.	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	13	Y	長谷川 聖	CLUB Y's	NSF250R	1'03.506
2	17		小室 旭	Team P.MU 7C	NSF250	1'04.090
3	64	Y	伊達 悠太	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'04.136
4	34	Y	中島 元氣	TEAM SRS-Moto	NSF250R	1'04.671
5	7		古市 右京	KTM RACING	RC250R	1'05.108
6	22		白石 玲菜	Dreamline Team REINA	NSF250R	1'05.277
7	12		船田 俊希	TEAM PLUSONE	NSF250R	1'05.357
8	11		太田 虎之進	WJ-FACTORY	NSF250	1'05.425
9	36	Y	福嶋 佑斗	TEAM PLUSONE	NSF250R	1'05.442
10	6		岡崎 静夏	UQ&テルル・Kohara RT	TSR3	1'05.504
11	41		宇井 陽一	41Planning	TR-004	1'05.655
12	33		佐野 勝人	犬の乳酸菌.jp/プリミティブRT	PRCS3b	1'05.926
13	16		野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	1'06.026
14	14		高杉 奈緒子	41Planning	NSF250	1'06.319
15	10		山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'06.539
16	21		畑中 要	FTR・タイヤナビ・藤遠藤住宅	NSF250R	1'07.046
17	3		安村 武志	犬の乳酸菌.jp/プリミティブRT	PRCS3C	1'07.257
18	23		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	TSR3	1'07.414
19	31		荘 安育	SHARK FACTORY aRacer BATTLE	NSF250R	1'07.780

***** 以上予選通過 *****
予選通過基準タイム(1'09.856 - 110%)
Entry :19 Start :19

INFORMATION

RIDE & DRIVE 全てのモータースポーツファンに
向けてレースをお届けします!

全日本ロードレース全戦が無料BS放送のBS12(番組名「RIDE&DRIVE」)で放送されます! 放送時間はレース6日後の土曜日、27:00~27:54

★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで!

■全日本ロードレース選手権第1戦 in 筑波+JP250
放映スケジュール

4月15日(土) 27:00~27:54



インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



サーキットの場内監視(ポスト)映像に外部カメラ映像をプラスし、「MFJライブチャンネル」にて配信。中継配信がより充実しました。※通信環境により配信遅延となる場合があります

YouTube You Tube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

